

「中国・アジア」ダイジェスト

2014.02.03-02.14

*記事は東京発行・最終版



2月3日(月)

椿本チエイン、天津に第2工場
自動車用

椿本チエインは、天津市に自動車用タ
イミングチェーンシステムの新工場を建
設する。約30億円投資。2016年1月稼
働。自動車部品関連の中国生産拠点は椿
本汽車発動機に次ぐ2カ所目。(1面)

米モレックス、上海に技術者
小型精密コネクターノ営業に同行

米モレックスは、小型精密コネクター
事業で、上海の営業拠点に技術者を配置
する。営業に同行し、ニーズを的確に把
握できる体制を整える。スマートフォ
ンの需要が伸びている。(11面)

遠州トラック、物流加工撤退
輸送・倉庫業務は継続

遠州トラックは、中国のグループ会社
・青島遠州が物流加工事業から4月に撤
退、また大連遠州を9月に清算する。青
島遠州には50人前後の従業員が残り今後
も輸送・倉庫業務を続ける。(14面)

2月4日(火)

NTN、C V J新工場
台湾・裕隆と合併

NTNは、中国で3番目の自動車用等
速ジョイント(C V J)の工場を湖北省
に新設する。台湾の裕隆グループと合併
会社を設立、2015年4月から量産。中国
でC V J需要が急増。(5面)

ショウワ、現地生産
中国向け洗浄機ノ日本から金型

ショウワは、中国向けの業務用洗浄機
の全量を現地生産に切り替える。ポンプ
などの基幹部品や金型は日本から供給
し、組み立てを現地メーカーに委託。価
格を2割下げて販販する。(8面)

「日印鉄鋼官民協力会合」(右から)インド鉄鋼省局長U・P・
シン氏、経産省製造産業局・竹上嗣郎氏(製鉄企画室長)、手塚
宏之座長ら(2月4日付)



2月5日(水)

ダイヘン、中国で多関節ロボ
生産能力1.5倍

ダイヘンは、アーク溶接用など産業用
小型多関節ロボットの生産能力を増強す
る。中国で小型多関節ロボットの生産を
始める。六甲事業所は生産にロボットを
使ったラインに。生産能力1.5倍。(1面)

2月6日(木)

ファナック、上海に新工場
ロボシステム構築ノ能力1.5倍超

ファナックは、上海市にロボットシス



中国では産ロボの需要が増加
傾向にある(ファナック)

テムの新工場を建設し、年内稼働。納入
前のロボットシステム構築やメンテナ
ンスを手がける。既存工場と合わせたシ
ステム構築能力は1.5倍以上。(1面)

2月10日(月)

広東のシート工場、移転・拡張
T S テックノホンダ隣接

T S テックは、2015年秋をめどに自動
車用シートを製造する広東省増城市の
「広州提愛思汽車内飾系統」を移転し、
拡張する。新工場もホンダの完成車工場
に近い増城市内に。(5面)

コタニ、自動車用ギア中国生産
月産30万個ノ岡谷鋼機と共同

コタニは、岡谷鋼機と共同で江蘇省に
熱間鍛造・熱間ローリングの新会社を設
立し、自動車用熱間ローリングギア(フ
ァイナルギア)の現地生産に乗り出す。
月産30万個を計画。(5面)

油圧機器、中国で攻勢

K Y B : 現地生産ノ不二越 : 生産5倍
油圧機器メーカーが、中国でミニ・小
型建設機械用油圧モーターの株式を株
大。K Y B は鎮江工場で現地生産。不二

油圧機器メーカーの 中国での動き	
K Y B	相模工場から生産を順次移管。 6月に小型油圧ショベル用モ ーター、12月に旋回モーターの生 産を開始する
不二越	ミニ油圧ショベル用旋回・走行 モーターの生産を開始。今年度 に8トン級向けモーターも生産 する

越は張家港工場の能力を現行の45倍
に。水利開発や都市開発向け。(7面)

日揮、都市開発を推進

中国・インド進行中ノプラント技術活用

日揮が、アジアで都市開発事業を推進
している。中国とインドの案件が進行中
だ。一見すると畑違いにも思えるが、プ
ラント建設で培ったノウハウが生きてい
る。(7面)

武漢のS Eを増員

新日鉄住金ソリュノオフショア強化
新日鉄住金ソリューションズは、武漢
市にある拠点のS Eを増員する。現在の
10人から5060人体制にする。オフショ
ア開発を強化する。現地採用を積極化、
上海からも派遣。(9面)



中国の開発現場(上海市)

2月11日(火)

電通、SNS広告大手を買収
上海ベラウォム

電通は、海外子会社を通じ中国・上海
のSNS向け広告大手「ベラウォム」の
株式を100%取得し、子会社化する。買
収金額は非公表。社名変更するが、経営

2月10日(月)

シンガポールでO 2 O

ソフトバンクテレコムは、シンガポ
ールで、インターネット上で集客して実
際の店舗での商品の購入につなげるオン
ライン・ツー・オフライン(O 2 O)サー
ビスに乗り出す。(8面)

2月11日(火)

民間航空機の需要、1万2820機
今後20年ノアジア太平洋地域

米ボーイングは、アジア太平洋地域の
今後20年間(2013年以降)の民間航空機
の需要が計1万2820機、1兆9000億
に予測。全世界の民間航空機の36%を占
める最大規模の市場に。(時事=5面)

羽田 ジャカルタ線、6月就航

ガルダ・インドネシア航空は、羽田
空港の発着枠拡大に伴い6月16日から羽
田ジャカルタ線を就航する。羽田から
はデンパサール線を運航しており、ジャ
カルタ線の開設で2路線目。(9面)

2月12日(水)

B P、印ジェット燃料参入

新興国で事業拡大
英石油大手B Pは、新興国での事業
拡大のため、傘下のジェット燃料供給
会社エアB Pを通じてインドのジェット
燃料市場に参入する。エアB Pは世界
45カ国の空港600カ所に拠点。(時
事=5面)

2月13日(木)

シンガポールに教育の中核拠点

日立建機ノ営業人材
日立建機は、海外の代理店で働く営
業人材を育てる中核拠点をシンガポ
ールに設置する。日本で培った営業人
材のスキル強化の教育プログラムを海
外向けに開発・導入し競争力を高め
る。(1面)

航空機産業 - 上昇気流に乗れノ

シンガポール・エアショーで、急成長
するアジアを取り込もうと各国企業が
攻勢。日本から中堅・中小企業も姿
を見出す。日本勢は成長市場の風を捉
え、飛躍できるか。(深層断面=26面)

三菱航空機は実物大の機型でM
R Jをアビール(川井社長)



陣は現状のまま維持。(3面)

ケアルコム特許料 - 高すぎる

中国・携帯電話業界団体が陳情書
中国の大手携帯電話メーカーなど30
社以上の業界団体は、経済官庁の国家
発展改革委員会に、米半導体大手ケ
アルコムに支払っている特許使用料が
高過ぎるとする陳情書を提出。(時
事=7面)

2月12日(水)

昭和電工、アンモニア生産2倍

液晶・LED製造用ノ年2000ト
昭和電工は、中国で液晶パネルや発
光ダイオード(LED)の製造工程に
使う高純度アンモニアの年産能力を
2000トに倍増。増強で同社の年産
能力は日本・台湾を合わせ合計6000
トになる。(11面)

2月13日(木)

中国新車販売、4社が最高

1月ノ日本企業
中国での乗用車メーカー7社の2014
年1月の新車販売台数はトヨタ自動
車とホンダ、マツダ、富士重工業の
4社が1月として過去最高。三菱自
動車を含め5社が前年同月を上回
った。(5面)

日系自動車メーカーの 1月中国新車販売	
日産	95,200(10.4)
トヨタ	85,600(18.1)
ホンダ	63,128(33.6)
マツダ	27,785(45.7)
スズキ	27,039(12.1)
三菱	7,528(62.5)
富士重	5,813(18.2)

単位台、カッコ内は前年同
月比増減率%、Yはマイナス

2月14日(金)

中国製航空機 - 世界席巻するが

MR Jなどノパイパイの関心高く
中国の民間機開発プロジェクトが本
格化。中国政府系の航空機メーカ
ーは90席

今回は -
「中国・アジア ダイジェスト」面の
今回は3月3日(月)に掲載します。

以下の「リージョナル」に150席程度
の「単通路機」の2機種を開発中。
MR Jなどノパイパイの関心は高い。
(6面)

TELOP

A T M保守システム、中国で稼働
OK I(4日10面)

香港・物流会社株を取得
近鉄エクスプレス(4日14面)

E V購入補助を継続
中国財政省(時事=11日5面)

ルート製薬、中国子会社を清算
高級化粧品・美容サロン(11日9面)

新常務役員、中国合併に派遣
スズキ、テコ入れ(14日3面)

東光TOB、中国で手続き完了
村田製作所(14日3面)

ひと

「友好賞」に感無量

「今回の受賞を誇りに
思う」と笑顔で語るの
は、油圧プレスメーカ
ーのタナカカメラ事務
の田中秀明さん。2013
年末に中国遼寧省から
「友好賞」を授与され
た。「教育指導から始
まり、部品の試作を何
度も繰り返してきた。そ
うして信頼関係もでき
た」と感無量。(5日=7面)

運次第

「中国で信頼できるパ
ートナーに出会えるか
は運次第」と、ショウワ
社長の藤村俊秀さん。現
地で業務用洗浄機の委
託生産を始める。「駐
在員の頑張りがないと
なら、もっと時間がか
かっていた。私は提携
先にも社員にも恵まれ
て運がいい」とほほ笑
む。(11日=6面)

「中国プラス1」需要対応

鴻池運輸ノアパレルノ貫物流

鴻池運輸が、東南アジアでチャイナ
プラスワン(中国プラス1)の需要に
合わせた物流の取り込
みを本格化。衣料品検
品の検品と業務提携。
ネットワークを融合、
国境を越えた一貫物
流サービスを提供。(15面)

TELOP

ダイハツ製小型車フィリピン販売
トヨタが正式発表(4日5面)

パニラエアが増便
成田・ソウル・那覇(4日15面)

新興国用小型車インドで生産開始
日産(5日5面)

インドネシアで自動車ローン
ジャックス(5日19面)

I E J、シンガポールでクラウド
香港にも延伸(6日9面)

ラオス計画投資省と提携
三菱東京UFJ銀行(7日17面)

マレーシア子会社を増資
みずほ銀行(7日17面)

住友商事、アジアで農業拡販
フィリピン・インド(13日13面)

タイ公社と関係強化
住宅支援機構(13日15面)

バンコクにサポートデスク
埼玉県(13日24面)

オバマ大統領、4月アジア歴訪
22日に来日(時事=14日2面)

ひと

「2色成形の樹脂用金
型を作る会社がベト
ナム・ホーチミンに進
出してほしい」と願
うのは、三商化学社
長の児玉康彦さん。
国内でも2色成形を
行う会社は少ない。
「恋人探しは苦労し
そうだが「差別化に
はこの技術は外せな
い」と意中の企業を
探す。(4日=8面)

タイ、簡単な状況ではない
タイでの今後のトラ
ック販売動向につい
て日野自動車専務の
梶川宏さんは、「し
ばらくは先行きが読
み切れない」と厳し
い見通しを示す。反
政府デモなどによる
政局混乱が販売にも
影響を与えていると
いう。「簡単な状況
ではない」が、次の
一手に知恵を絞る。
(5日=5面)

タイ、簡単な状況ではない

「今後の成長ドライ
ブとして新興国での
事業強化に加え、化
学品事業を伸ばすこ
とも重要」と、旭硝
子社長の石村和彦
さん。インドネシア
でカセイソーダ能力
増強、ベトナムは塩
化事業会社の買収
など「積極投資の刈
り取りが成長の柱の
一つになる」。(13
日=11面)

積極投資の刈り取り

「今後の成長ドライ
ブとして新興国での
事業強化に加え、化
学品事業を伸ばすこ
とも重要」と、旭硝
子社長の石村和彦
さん。インドネシア
でカセイソーダ能力
増強、ベトナムは塩
化事業会社の買収
など「積極投資の刈
り取りが成長の柱の
一つになる」。(13
日=11面)



2月3日(月)

カネミツ、ライン新・増設
タイ・中国・インドノ部品内製

カネミツは、自動車エンジン部品など
に使われるボス(突起)部一体成形加工
品の前工程ラインをタイ、中国、イン
ドの各子会社に新・増設する。海外
拠点で部品内製によるコストダウン。
(6面)

インドネシアで省エネ型ポンプ

西島製作所ノ最新機種に切り替え
西島製作所は、インドネシアで省エ
ネルギー型ポンプ「エコポンプ」の
生産を始める。インドネシアでは、
旧型機種を生産、日本で製造する
ものと同等の最新機種を生産に切
り替える。(7面)

マレーシアに新工場
オーティスノスマホ部品

オーティスは、マレーシアに新工場
を建設、4月をめどに稼働する。総
投資額は約1億円。従来型の携帯
電話やスマートフォン向けの絶縁
フィルムや樹脂フィルムを製造する
工場を建設する。(11面)

電通大、バンコクにオフィス

学生交流ノ共同研究
電気通信大学は、タイ・バンコク
にオフィスを開設。交流協定校・
キングモンクット工科大学の産
学連携オフィスを借りる。留
学生募集や大学・現地企業と
共同研究。2カ所目の海外拠点。
(17面)

2月4日(火)

国際協力銀、タイパーツで融資
モノ精工ノ現地通貨で建設資金

国際協力銀行は、精密機械部品を
製造するモノ精工に、タイ事業に
必要な資金を現地通貨で貸し出
す。多摩信用金庫との初の協
調融資。6500万円(約2億円)。
トラック部品の工場を建設する。
(1面)

3 R推進 - 国際連携を検討

アジア大洋州3 R推進フォー
ラムの検討内容が固まった。新
たなテーマとして3 R推進に
向け、政府の取り組みだけでは
なく自治体や事業者、住民の重
層的な協力関係の構築を取り上
げる。(2面)

複合加工機、韓国で増産

中村留精密ノ70%増
中村留精密工業は、韓国工場での
複合加工機の月産台数を今夏を
めどに約70%増の20台に引き
上げる。欧米での需要増に
対応、現地での人材育成を進
めて増産する。(7面)

高松機械、東南ア開拓

営業・メンテノベトナムに代理店
高松機械工業は、東南アジアでの
営業、メンテナンス体制を拡充す
る。ベトナムで現地企業と初
めて販売代理店契約。現地
で主力のCNC旋盤を拡販す
る。(8面)

鉄鋼の省エネ、日印が意見交換

官民で会合ノ技術移転を促進
日本の鉄鋼業が有する環境・省
エネ技術をインドの鉄鋼業に移
転するため、政策や取り組みなど
を意見交換する「日印鉄鋼官
民協力会合」が都内で始まった。
技術移転を促進。(13面)

シンガポール物流会社を買収

S B Sノコンテナ陸送参入
S B Sホールディングスは、シン
ガポールの物流会社であるジ
ン・グアン・フレートを買収した。
コンテナの陸送事業に参入する。
A S E A Nのほかの拠点への
展開も視野に。(14面)

2月5日(水)

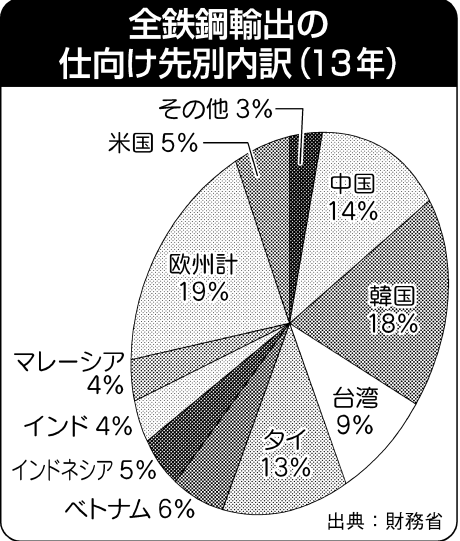
印タタ、4年ぶりに新型車

小型車2車種ノ巻き返し
印タタ・モーターズは、4年ぶ
りに新型の小型車2車種を発表
した。日本勢をはじめとする海
外メーカーが攻勢をかける
インド国内の乗用車市場で巻
き返しを図る。(時事=5面)

2月6日(木)

鉄鋼 - 海外戦略に影

新興国通貨安リスク
通貨安に伴う新興国経済の悪
化懸念や中国の景気減速が、
国内鉄鋼メーカーのリスク要
因として浮上。重要市場での
リスクが高まれば、鉄鋼各社の
海外戦略に影響しかねない。
(深層断面=28面)



タイ - 自動車市場に影

タイの反政府デモなどによる政局
混乱が自動車事業に影を落
している。非常事態宣言で販
売店への客足が遠のき、生
産調整に入るケースも出て
きた。タイ市場は日本車の
シェアが9割。(3面)

インドに2輪車の第4工場

ホンダノ年産能力120万台
ホンダは、インドで2輪車の第4
工場をグジャラト州に建設す
る。年産能力は120万台。
2015年度下期に生産を
始める。インドでの2輪車
の年産能力は460万台から
580万台に拡大する。(6面)

平和テクニカ、タイ進出

精密切断機ノ実演展示
平和テクニカは、カートン光学、
タイ販売子会社のカートンレー
ディングの両社と販売代理店
契約を結んだ。展示室を開
設し、精密切断機や切断用
砥石などを実演する。(7面)

日揮、製油所改造を受注

ユーロ4・5対応ノシンガ
ポール
日揮は、シンガポールで製油所
にガソリン脱硫装置を新設す
る改造プロジェクトを受注
した。受注額は約300億円。
「ユーロ4」「5」に対応
するガソリン製品を生産。
(7面)

インド後発薬子会社に改善策

第一三共ノ品質管理まで
拡大
第一三共は、F D Aから輸入
禁止措置を受けたインド後
発薬子会社ランバクシー
の品質保証の改善支援策を
抜本対策に見直す。製造
現場主体だった対策を品質
管理部門まで広げる検討。
(11面)

日通が「ハラル認証」

マレーシアで取得ノ夏にも
日本通運は、マレーシアの
現地法人を通じ、イスラ
ム教の戒律に従い処理・製
造された製品やサービスの
証明「ハラル認証」を夏
にも取得する。物流業者
による申請は初めて。(15面)

山九、ベトナムに物流施設

南部最大ノ保税・流通加工
山九は、ベトナム南部で最大
となる物流施設「サイゴン
物流センター」を建設す
る。2015年1月完成。
ドンナイ省の工業団地に
立地。保税倉庫と一般倉庫
を備える。流通加工にも
対応。(15面)

2月7日(金)

「787」用の機体部品受注

今井航空機器ノマレーシア
で一貫生産
今井航空機器工業は、米スピ
リット・エアシステムズから
米ボーイングの中型機「787」
用の機体部品約60点を
受注した。マレーシア子
会社で機械加工から表面
処理まで一貫生産する。
(1面)

日系自動車、インド販売を拡充

ホンダノMPVノ日産ノダ
ットサン拡充
日系自動車メーカーが相次
ぎインドで販売を強化す
る。ホンダは多目的車
を投入。日産自動車も「
ダットサン」で小型車
とMPVを発売。いすゞ
はSUV現地生産を
控え販売網を拡充。(1面)

山善、タイに現法

生産財ノ建材・住宅設備
山善は、タイで建築資材
や住宅設備の営業を行
う現地法人を4月1日
付で設立する。駐在
員事務所を設置してい
た。タイ向け営業は
生産財で先行するが、
住建事業でも本格参
入する。(7面)

インドJ S Wの高炉の改修受注

新日鉄住金エンジノ国内勢
で初
新日鉄住金エンジニアリング
と丸紅は、インド鉄鋼最大
手のJ S Wスチール
から高炉の拡大改修工
事を受注した。受注
額は数十億円。同
国で高炉案件を受注
するのは国内勢で
初。(11面)